

令和4年度  
就労困難者訓練支援モデル事業  
報告書

令和5年3月

福岡県就労支援協同組合

# 目次

## 1. 就労困難者訓練支援モデル事業について

---

### (1) 令和4年度の実施結果

#### ア 周知・広報に対する取組

(ア) 事前準備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P3

(イ) 周知・広報実績・・・・・・・・・・・・・・・・ P4

(ウ) 周知・広報媒体・・・・・・・・・・・・・・・・ P4

#### イ 事業利用者に対する取組

(ア) 支援の流れ・・・・・・・・・・・・・・・・ P7

(イ) 想定との違い・・・・・・・・・・・・・・・・ P8

(ウ) 支援内容詳細・・・・・・・・・・・・・・・・ P9

#### ウ 訓練等実施機関との連携に対する取組

(ア) 協力関係構築に向けて・・・・・・・・ P19

### (2) 実施体制

ア 支援体制図・・・・・・・・・・・・・・・・ P21

#### イ 支援役割分担

(ア) WORK!DIVERSITY マネジメントセンター・・・・・・・・ P21

(イ) 県内4地区訓練等実施機関・・・・・・・・ P21

ウ 組合実施体制図・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P22

エ 組合役割分担

(ア) 業務責任者・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P22

(イ) コーディネーター・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P22

## 2. 令和4年度の成果、課題、今後の対応策

(1) 成果とその要因

ア 個別支援によるもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P24

イ 体制構築によるもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P25

(2) 課題とその要因・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P26

(3) 今後の対応策・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P27

## 参考資料

(1) 実行委員会、有識者会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P30

(2) 県内4地区訓練等実施機関支援一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P32

(3) 事業の周知広報を行った機関等・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P40

## 1. 就労困難者訓練支援モデル事業について

---

### (1) 令和4年度の取組結果

#### ア 周知・広報に対する取組

##### (ア) 事前準備

県内4地区の訓練等実施機関の選定

就労困難者の支援の実績があり、障がい者就労移行支援等の障がい者の雇用に関する知見や経験、ノウハウを有し、安定した運営を行ってきており、最も効率的に本業務の履行が可能である訓練等実施機関を選定した

福岡地区：キャリアサポート福岡

キャリアサポート天神

ACE

たいよう

かがやき

てとて

北九州地区：クラルス（インクル）とばた

クラルス（インクル）春ヶ丘

筑豊地区：ジョブサポートみろく

筑後地区：たんぼぼ

※2022年8月 キャリアサポート福岡の環境に合わない利用者がいた場合の訓練先として、キャリアサポート天神を追加

※2023年3月 福岡地区の受入れ人数が上限に達して受入れができない事からACE・たいよう・かがやき・てとてを追加  
令和5年度から受入開始

各訓練等実施機関「就職訓練プログラム」「相談」「職場実習」「就職活動サポート」を行う  
※訓練等実施機関ごとの支援内容は、参考資料（2）県内4地区訓練等実施機関支援一覧

## (イ) 周知・広報実績

【訪 問】	88 件	(うち県同行 13 件)
【電 話】	7 回	
【メ ー ル】	6 回	
【WEB 会 議】	2 回	
【郵 送】	247 回	
【合 計】	350 件	の周知・広報活動を行った

※件数・回数は、延べ件数・延べ回数

就労困難者に既に就労または生活等の支援を行っている支援機関、市の相談窓口や民間団体など様々な機関や団体に周知を行った

事業利用に繋がった周知先

- ・筑後若者サポートステーション
- ・障がい者基幹相談支援センター
- ・北九州障害者しごとサポートセンター
- ・NPOホームレス支援団体おにぎりの会
- ・障がい者グループホーム アトリエ花畑
- ・福岡県庁 公式 LINE

※参考資料(3) 事業の周知広報を行った機関等

## (ウ) 周知・広報媒体

チラシ、ポスター、QRカード、ホームページなど様々な媒体で広報活動を行った  
また、広報媒体の文言やレイアウト等に、適宜改良を重ねた

チラシ



日本財団「WORK! DIVERSITY実証化モデル事業」  
就労に向けた支援を受けてみませんか？

こんなお悩みありませんか？

- 働くきっかけが欲しい
- 向いている仕事分からない
- 人と話すのが苦手
- 体調が心配で働けるか不安
- 集中力が続かない
- ビジネスマナーが分からない など

支援に関する費用は無料です。まずはご相談ください！  
※支援が受けられない場合も、適切な支援機関への案内を行います。

対象となる方

- 働きづらさを抱えており、働く前に支援を受けたい方
- 障がい福祉サービス受給者証を取得できない方

※各地区5名までの人数制限あり

支援内容

- 職業訓練プログラム
- 相談
- 職場実習
- 就業活動サポート

お住まいの地区や学習したい内容を考慮の上  
ご希望の訓練実施機関をお申し付けください。

この事業は、公益財団法人日本財団及び福岡県からの助成を受け実施しています。

ご利用の流れ

- 相談・申込 福岡県就労支援協同組合に相談・申込
- 支援方法の決定 支援機関・支援開始日の決定
- 支援詳細の決定 個別の支援計画、支援内容の決定
- 訓練 障がい者就労移行支援事業所での訓練
- 就労開始 就労開始または働きづらさの改善

お申込方法 (3通りあります)

Web QRコードを読み込み <https://forms.gle/32amcLuvWFA5D7>

メール contact@fesc.jp

電話 090-1092-9346

①お名前 ②電話番号 ③メールアドレス  
①～③を漏れなくご記入のうえ、お送り下さい

訓練実施機関

福岡地区：キャリアサポート福岡  
福岡地区：キャリアサポート天神  
北九州地区：クラルス（インクル）とぼた  
北九州地区：クラルス（インクル）春ヶ丘  
筑豊地区：ジョブサポートみろく  
筑後地区：障害者就労自立支援センターたんぼぼ

お問合せ先  
福岡県就労支援協同組合  
TEL 090-1092-9346  
mailto:wd@fesc.jp

WORK! DIVERSITY実証化モデル事業  
専用ホームページ  
<https://fesc.jp/workdiver/index.html>

ポスター



日本財団「WORK! DIVERSITY 実証化モデル事業」  
就労に向けた支援を受けてみませんか？

こんなお悩みありませんか？

- 働くきっかけが欲しい
- 向いている仕事分からない
- 集中力が続かない
- 人と話すのが苦手
- 体調が心配で働けるか不安
- ビジネスマナーが分からない など

支援に関する費用は無料です。まずはご相談ください！  
※支援が受けられない場合も、適切な支援機関への案内を行います。

対象となる方

- 働きづらさを抱えており、働く前に支援を受けたい方
- 障がい福祉サービス受給者証を取得できない方

※各地区5名までの人数制限あり

支援内容

- 職業訓練プログラム
- 相談
- 職場実習
- 就業活動サポート

お住まいの地区や学習したい内容を考慮の上  
ご希望の訓練実施機関をお申し付けください。

ご利用の流れ

- 相談・申込 福岡県就労支援協同組合に相談・申込
- 支援方法の決定 支援機関・支援開始日の決定
- 支援詳細の決定 個別の支援計画、支援内容の決定
- 訓練 障がい者就労移行支援事業所での訓練
- 就労開始 就労開始または働きづらさの改善

お申込方法 (3通りあります)

Web QRコードを読み込み <https://forms.gle/32amcLuvWFA5D7>

メール contact@fesc.jp

電話 090-1092-9346

①お名前 ②電話番号 ③メールアドレス  
①～③を漏れなくご記入の上、お送り下さい

訓練実施機関

福岡地区：キャリアサポート福岡、キャリアサポート天神  
北九州地区：クラルス（インクル）とぼた、クラルス（インクル）春ヶ丘  
筑豊地区：ジョブサポートみろく  
筑後地区：障害者就労自立支援センターたんぼぼ

「この事業は、公益財団法人日本財団及び福岡県からの助成を受け実施しています。」

お問合せ先 福岡県就労支援協同組合  
TEL 090-1092-9346 メール contact@fesc.jp

WORK! DIVERSITY 実証化モデル事業専用ホームページ  
<https://fesc.jp/workdiver/index.html>

## QRカード

福岡県WORK!DIVERSITY 実証化モデル事業

働きづらさを抱えるあなたへ  
就労に向けたサポートを受けてみませんか？



QRコードから専用ホームページへアクセス  
サポートに関する費用 無料

【実施事業者】 福岡県就労支援協同組合  
【協力】 公益財団法人日本財団  
福岡県

お問い合わせ

電話 090-1092-9346  
時間 9:00~18:00 (月~金)  
mail wd@fesc.jp  
URL <https://fesc.jp/workdiver/index.html>

## ホームページ

<https://fesc.jp/workdiver/index.html>

### 福岡県 WORK! DIVERSITY 事業とは？

福岡県在住の働きづらさを抱える方を対象とした、新しい就労支援モデルをつくるプロジェクトです。  
さまざまな理由から「働きたいのに働けない」状況にある方へ、一人ひとりに寄り添ったサポートを提供します。  
※障害者手帳をお持ちの方は、既存の障害福祉サービスを利用することができると、本事業の対象にはなりません。

#### こんな悩みありませんか？

- 働けなさが気になる
- 向いている仕事が見つからない
- 人と話すのが苦手
- 体調が心配で働けるか不安
- 集中力が続かない
- ビジネスマナーが分からない等

まずはご相談ください！  
※支援が受けられない場合も、適切な支援機関への案内を行います

#### 対象となる方

- ✓ 福岡県在住の方
- ✓ 働きづらさを抱えており、働く前に支援を受けたい方
- ✓ 障がい福祉サービス受給者証を取得できない方

※各地区5名までの人数制限あり

#### 支援内容

- 職業訓練プログラム
- 相談
- 職場実習
- 就職活動サポート

支援は、障害者総合支援法に基づく就労移行支援事業所で行われ手厚い就労支援が受けられます。  
お住まいの地区や学習したい内容を考慮の上、ご希望の訓練実施機関をお申し付けください。

### 訓練実施機関

- 福岡地区 キャリアサポート福岡
- 福岡地区 キャリアサポート天神
- 北九州地区 クラルス（インクル）とぼた
- 北九州地区 クラルス（インクル）春ケ丘
- 筑豊地区 ジョブサポートみらく
- 筑後地区 障害者就労自立支援センターたんぼぼ

### 福岡県WORK!DIVERSITY事業チラシ



チラシダウンロード

### お問合せ先

福岡県就労支援協同組合  
wd@fesc.jp 090-1092-9346

© 福岡県就労支援協同組合 All Rights Reserved, Inc.

## イ 事業利用者に対する取組

### (ア) 支援の流れ

#### ①「申込フォーム」「電話」より申込を受付

- ・事業利用希望や相談を受け対応
- ・事業対象外・事業利用に至らなかった相談者への情報提供や支援機関を案内  
(外国人雇用センター、生涯現役チャレンジセンターなど)

#### ②組合より利用者へ連絡

- ・利用者や訓練等実施機関と連絡をとり、初回面談日を決定

#### ③初回面談

- ・事業説明
- ・「受付シート」記入
- ・「個人情報取り扱い同意書」記入
- ・「QOL※1チェックシート」記入
- ・聞き取り

#### ④利用判定会議

- ・聞き取り内容や受付シート、QOLをもとに、事業対象者かを判断

#### ⑤利用に向けた面談

- ・訓練等実施機関の紹介、見学案内
- ・訓練内容の説明
- ・最終意思確認
- ・利用契約書の説明、契約

#### ⑥事業利用決定時支援

- ・訓練等実施機関と訓練開始日の調整
- ・訓練等実施機関に書類の依頼 (利用契約書、個別支援計画書)
- ・訓練初日同行希望の有無確認

#### ⑦個別支援計画作成

- ・訓練等実施機関に依頼、データで内容を共有

#### ⑧訓練開始時支援

- ・利用者が希望した場合は、初日同行
- ・訓練等実施機関と随時連絡を取り利用者の情報を共有

#### ⑨訓練実施

- ・訓練等実施機関が個別支援計画に基づき訓練を実施

#### ⑩月次面談

- ・KPS ビジューアライズツール※2を活用した、利用者自己評価及び支援者評価を行い



訓練開始前後の変化を確認

- ・月末に事業利用者と対面で面談を実施

訓練状況・健康状態・不安・心配なこと・要望・今後の目標を聞き取り

- ・面談内容をテキストデータで保存

#### ⑪訓練終了時支援

訓練終了者が出ていないため無

#### ⑫定着支援

訓練終了者が出ていないため無

#### ※1 QOLとは

「Quality of Life (クオリティ・オブ・ライフ)」の略称で、アンケートをもとに「生活の質」を判定 本事業ではQOL評価法 WHO QOL-26 を実施

#### ※2 KPS ビジュアルライズツールとは

一般社団法人京都自立就労サポートセンターが公開している、就労準備支援事業利用者の日常生活、社会的能力、就労意欲の変化を捉えることができる個人評価ツール  
本事業共通のアセスメントツールであり、利用者・支援者のアンケート結果をもとに訓練効果の可視化を行う

<https://www.kyoto-ps.com/vt/>

### (イ) 想定との違い

#### ●受入れの手順について

- ・③初回面談 ④利用判定会議 ⑤利用に向けた面談 ⑥事業利用決定をまとめて行い、利用希望から訓練開始までの期間を短期間に行うケースが多かった

#### ●相談について

- ・利用者からの相談はメール・公式 LINE を想定していたが、電話が多かった
- ・利用者からマネジメントセンターへの相談は想定より少なかった
- ・想定していた利用者からの相談依頼より、訓練等実施機関からの相談回数が多かった

#### ●訓練初日の同行

- ・初回同行は利用者から要望されることは無く、訓練等実施機関側から要望があった

#### ●訓練等実施機関の受け入れ人数について

- ・想定よりも少なかった

(1 訓練等実施機関 2 名程度)

#### ●アンケート実施について (KPS・QOL)

- ・負担や不満を感じる利用者が多いと予想していたが、スムーズに実施できた

#### ●訓練について

- ・利用者の訓練日数は、週5日利用の方が多いと想定していたが、週2～3日から始め徐々に日数を増やす方が大半だった

### (ウ) 支援内容詳細

【相談件数】 26件

【面談】 13名

「区分」ひきこもり：1名 ニート：2名 生活困窮者：1名 高齢者：1名  
障がい者：1名 その他：4名 難病その他の病気、障害者：3名

【事業利用者】 9名

「性別」 男性：5名 女性：4名

「年代」 10代：1名 20代：2名 30代：5名 40代：1名

【利用調整中】 2名

- ・生活困窮者、難病その他の病気、障害者

⇒2年前に心不全発症 働いていないため生活保護受給中

通所可能な訓練等実施機関の定員が埋まっている為、空きが出次第連絡

- ・難病その他の病気、障害者

⇒歯周病による体調不良(リンパ腫れ・頭痛・発熱等)失業保険受給中

訓練等実施機関見学後に、事業利用を決める

【相談後 面談に至らなかった13名への対応】

- ・ひきこもりの子供を持つ母親の相談

⇒後日、福岡地区の訓練等実施機関 見学同行

- ・外国人の夫の就労について相談

⇒福岡外国人雇用センターを案内

- ・ヘルニアで2ヶ月休職中の方の相談

⇒その後連絡取れず

- ・障がい者の方からの相談

⇒障がい者手帳を持っていたためハローワーク障害者部門と就労継続支援を案内

その他 9名 訓練等実施機関への相談があったが、連絡待ちまたは、連絡とれない

【面談後 利用に至らなかった2名への対応】

- ・高齢者

⇒福岡県生涯現役チャレンジセンターを紹介

- ・その他

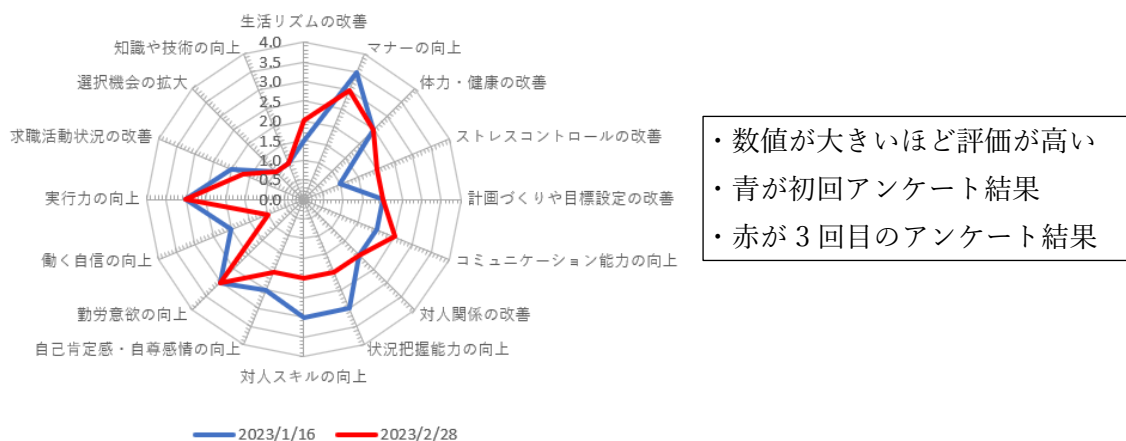
⇒プログラミング学習を希望していたため、公共職業訓練の案内を用意していたが

連絡とれず

事例1 筑豊地区 2023年1月16日より ジョブサポートみろく通所

年代・性別・区分	30代 男性 ひきこもり
通所日数・時間	週2日通所 9時半～15時半
困っていたこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対人関係</li> <li>・緊張</li> <li>・疲れやすさ</li> <li>・睡眠が取れない</li> </ul>
支援内容・詳細	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無理をしないように適宜、自身の思いを確認</li> <li>・相談がしやすい様に声掛け、必要に応じて面談を行う</li> </ul>
取組上で苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンディションが安定しない（睡眠、食事、生活リズム）</li> <li>・気力や体力が持たず疲れる事を認めない</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指示に沿った作業は一人で遂行できる事が確認できた</li> <li>・手先と目を使う細かい作業は苦手だという事が分かった</li> <li>・通所日に休まずに通所が出来た</li> <li>・面談では、雑談や訓練状況の伝達ができるようになり笑顔も増えた</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続就労に向けた通所日数の増加</li> <li>・コンディション調整（睡眠の安定、生活リズム改善）</li> <li>・自身の状態を正しく認識する</li> </ul>

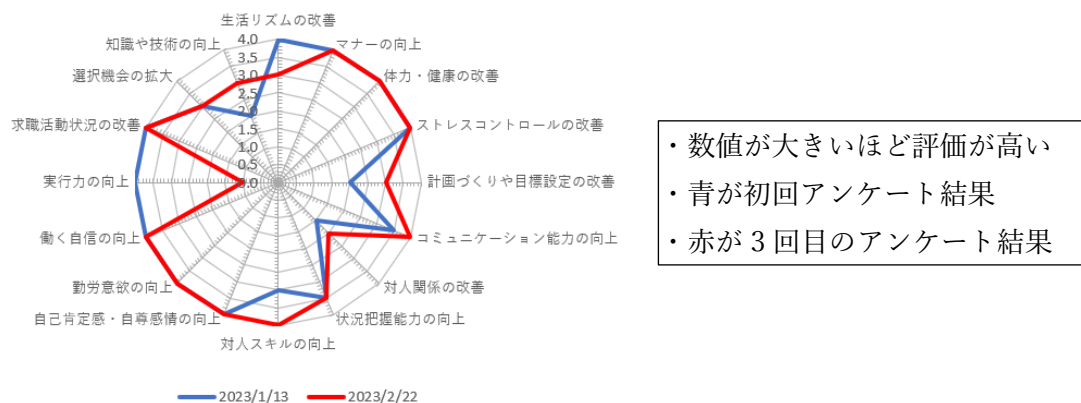
KPS ツールを活用した利用者自己評価結果



事例2 福岡地区 2023年1月13日よりキャリアサポート福岡通所

年代・性別・区分	20代 男性 ニート・フリーター
通所日数・時間	週2~3日通所 10時半~12時半
困っていたこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対人関係</li> <li>・緊張</li> <li>・数字が苦手</li> <li>・自信が無い</li> </ul>
支援内容・詳細	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練時の報連相タイミングを明確にして報連相を促す</li> <li>・グループワークを行い、コミュニケーション方法を模索</li> <li>・様々な作業を行い、得意な事や苦手な事を整理する</li> <li>・就職に必要なスキルを身に着けるためのサポート</li> <li>・定期的に面談を行い、困った事や不安な事について確認</li> </ul>
取組上で苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊張が伴う場で会話が止まることが見受けられた</li> <li>・スケジュール管理が苦手 (時間を間違える、予定通り動けない事が数回あり)</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に慣れ、コミュニケーションがとれるようになった</li> <li>・作業内容の理解が速い事が確認できた</li> <li>・ミスの原因を突き止められる事が確認できた</li> <li>・苦手な数字の関わる作業に自らの意思で挑戦できた</li> <li>・数字を扱う作業が問題なく行える事が分かった</li> <li>・面談では、笑顔もあり雑談や訓練状況の伝達ができた</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊張が伴う場面での会話継続</li> <li>・スケジュール管理</li> </ul>

KPS ツールを活用した利用者自己評価結果

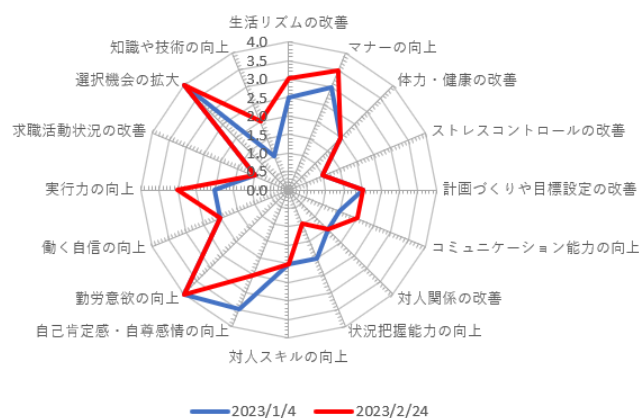


※「実行力の向上」は誤って入力しているよう。支援員の評価は高い

事例3 北九州地区 2023年1月4日よりクラルス（インクル）春ヶ丘通所

年代・性別・区分	30代 女性 その他の困難要因
通所日数・時間	週2～3日通所 8時50分～12時
困っていたこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対人関係</li> <li>・自信が持てない</li> <li>・周囲の人が気になる</li> <li>・コミュニケーションに不安がある</li> <li>・自分に合う仕事が見つからない</li> </ul>
支援内容・詳細	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OA・事務・実務など様々な訓練を行い、できることを確認</li> <li>・週課を決めて訓練を提供</li> <li>・毎週の面談、作業時に適宜声掛けを行う</li> <li>・毎月、作業習得状況、日々の変化の振り返り面談を行う</li> <li>・面談の結果を踏まえて、適職を一緒に考える</li> </ul>
取組上で苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の気持ちを伝える事が苦手</li> <li>・作業時に不明点の確認ができず、時間が掛かる</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談では、笑顔もあり雑談や訓練状況の伝達できた</li> <li>・身体不調に気付き、対処できるようになった</li> <li>・通院の再開、服薬による身体的不調（体の凝りなど）の改善</li> <li>・本人の困りごとの背景が判明</li> <li>・検査を受け軽度の知的障がいの診断（障害受容も少しずつ進む）</li> <li>・複数行程、確認ポイントが多いものは苦手だと分かった</li> <li>・前向きな気持ちが出てきた（利用時間延長・資格取得）</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気持ちの伝達</li> <li>・作業時の不明点の質問</li> <li>・継続就労に向けた通所日数の増加</li> <li>・障がい受容</li> </ul>

KPS ツールを活用した利用者自己評価結果

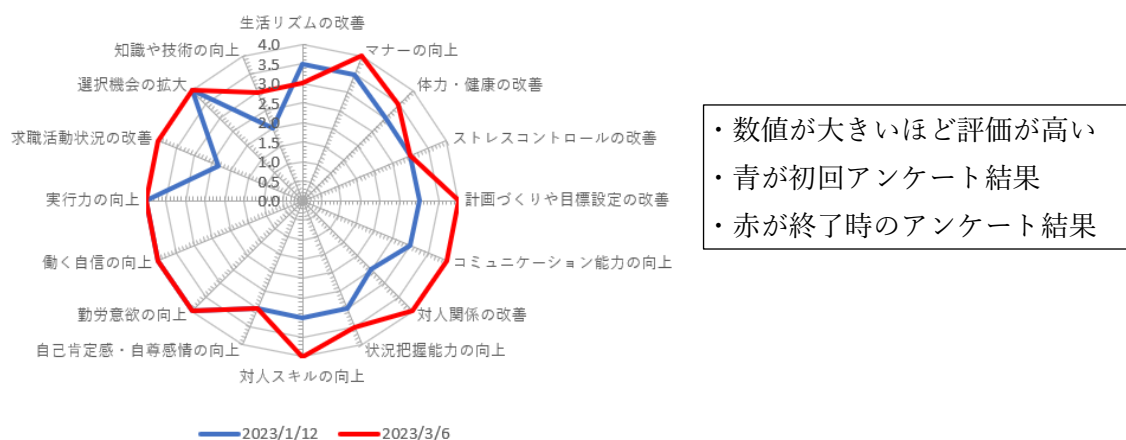


- ・数値が大きいほど評価が高い
- ・青が初回アンケート結果
- ・赤が3回目のアンケート結果

事例4 福岡地区 2023年1月12日よりキャリアサポート福岡通所

年代・性別・区分	30代 女性 その他
通所日数・時間	週1~2日通所 10時00分~12時半
困っていたこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働く勘を取り戻したい</li> <li>・対人スキルを身に着けたい</li> <li>・就職に向けて準備を行うため事業を利用</li> </ul>
支援内容・詳細	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用日数を決め、通所リズムを整える</li> <li>・就職に向けて、面接練習を行う</li> <li>・定期的に面談を行い、不安や悩みの聞き取りを行う</li> </ul>
取組上で苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意思表示があまりなく、考えや希望が分かりにくい</li> <li>・突然退所の申し出があった（面談を行い訓練継続）</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所する事で就職意欲がわき、就職活動に力を注ぐ事ができた</li> <li>・面接練習で面接に慣れる事ができた</li> <li>・自身で就職活動を行い、給食センターに就職決定（3月20日より勤務開始）</li> <li>・自分に合う働き方を見つけるという視点が出来た</li> <li>・面談中に、目を合わせて話せるようになり、笑顔が増えた</li> <li>・2年間働き、調理師免許取得を目指したいと前向きな目標を持つようになった</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告・連絡・相談の徹底</li> <li>・不明点や悩みを適切に伝える</li> </ul>

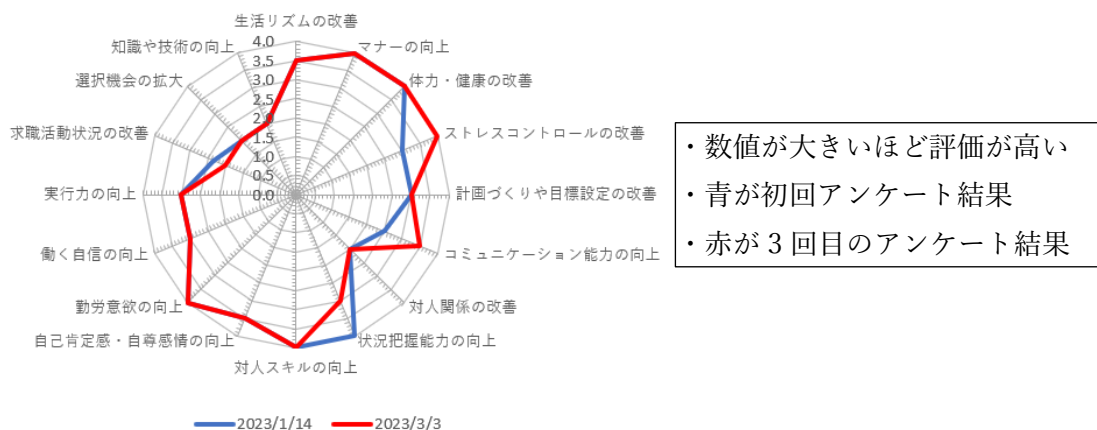
KPS ツールを活用した利用者自己評価結果



事例5 筑後地区 2023年1月4日よりたんぼぼ通所

年代・性別・区分	10代 女性 ニート・フリーター
通所日数・時間	週5日通所 9時00分～16時
困っていたこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面緘黙 (一言も喋ることが出来ず、筆談やチャットを使って面談)</li> <li>・自信が無い</li> <li>・自分に合う仕事が見つからない</li> </ul>
支援内容・詳細	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決められた場所・時間での挨拶をルール化</li> <li>・訓練時の報連相タイミングを明確にして報連相を促す</li> <li>・様々な作業を行い、利用者に合う職種を見つける (施設内での部品組み立て、DM 発送作業、外部講師による学習プログラム)</li> <li>・振り返りを行い出来ることを確認</li> </ul>
取組上で苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションが取りにくいいため配慮が必要だった</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週5日休むことなく通所</li> <li>・集中力、作業能力の高さ、就労に対する強い意志を確認</li> <li>・母親の場面緘黙や手帳取得に対する理解が深まった</li> <li>・返事・挨拶・報告ができるようになった (初めは慣れた職員のみ、1カ月後は職員全員 2か月後は大勢の前で自己紹介を行うなど話せる範囲が徐々に広がる)</li> <li>・自分から実習に行きたいとの意思表示をした</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事を行う上で必要な、報告・連絡・相談を適切に行う</li> </ul>

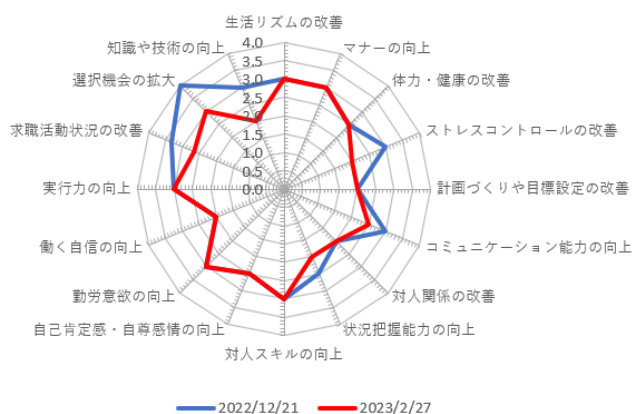
KPS ツールを活用した利用者自己評価結果



事例6 北九州地区 2023年1月6日よりクラルス（インクル）春ヶ丘通所

年代・性別・区分	50代 女性 その他
通所日数・時間	週3~4日通所 8時50分~12時
困っていたこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力がない</li> <li>・コミュニケーションに不安がある</li> <li>・仕事が長続きしない</li> <li>・自分にできること、何を頑張ったらいいいのか分からない</li> </ul>
支援内容・詳細	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無理のない範囲通所を行い、継続する事で体力をつける</li> <li>・毎週の面談、作業時に適宜声掛けを行う</li> <li>・毎月、作業習得状況、日々の変化の振り返り面談を行う</li> <li>・面談の結果を踏まえて、適職を一緒に考える</li> <li>・OA、事務、実務など様々な訓練を行い、できることを確認</li> </ul>
取組上で苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物事の捉え方にズレが生じることに自覚がない</li> <li>・本人と支援員の理解の一致までに時間を要する</li> <li>・自分の情報を伝えたがらない。支援員にも知られることを嫌がるため、情報共有が難しい場面がある</li> <li>・強迫観念など障害受容が十分ではない</li> <li>・医師との連携の必要性を感じるが、本人が望まない</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週3~4日の午前であるが、安定して通所が出来ている</li> <li>・就職に向けた積極的な行動を起こしている (訓練日以外に若者サポートステーションの就職講座を受講)</li> <li>・自分に合った働き方を見つけるという視点ができた</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミスが気になり、確認行動が多く作業速度が向上しない</li> <li>・前回行った作業を覚えていない事がたびたびある</li> <li>・心身の不調に対する自己受容が進んでいない</li> <li>・継続就労に向けた通所日数の増加</li> </ul>

KPS ツールを活用した利用者自己評価結果



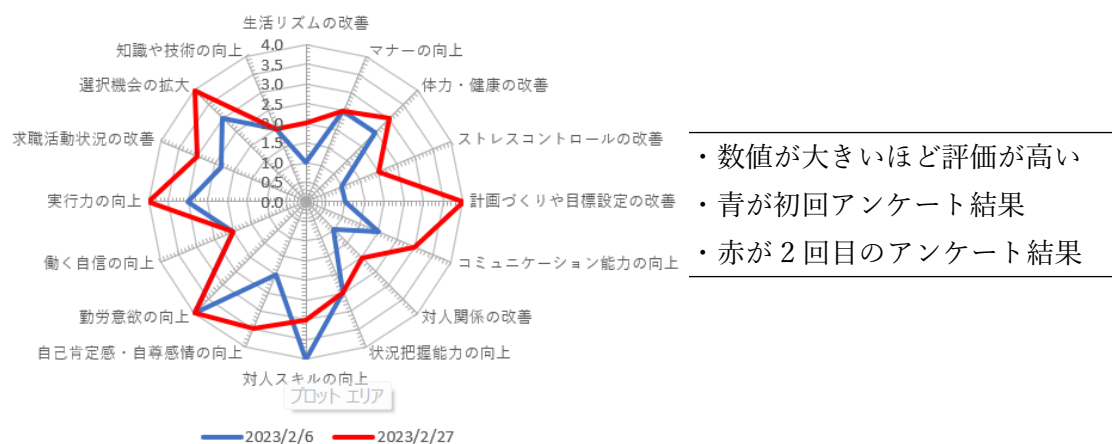
- ・数値が大きいほど評価が高い
- ・青が初回アンケート結果
- ・赤が3回目のアンケート結果



事例7 福岡地区 2023年2月6日よりキャリアサポート福岡通所

年代・性別・区分	30代 男性 生活困窮者・ひきこもり
通所日数・時間	週3日通所 10時～16時
困っていたこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームレス生活を送っていた (現在は、住居の提供と生活保護を受けている)</li> <li>・生活習慣の乱れ(昼夜の逆転、夜間のみの外出)</li> <li>・対人恐怖 (人混みや狭い空間での集団に対する圧迫感や体調の乱れ)</li> </ul>
支援内容・詳細	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所日数を調整しながら、通所による負担の確認を行う</li> <li>・定期的な通所による生活習慣の乱れの改善</li> <li>・様々な作業を行い、得意な事や苦手な事を探る</li> <li>・得意な事を増やして自信が持てるように働きかける</li> <li>・必要に応じて訓練内容の提案や助言を行う</li> </ul>
取組上で苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練を受けてみて、本人の認識以上に、対人恐怖や生活習慣の乱れがあった</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対人恐怖や生活習慣に対する自己認識が深まった</li> <li>・集中して作業を行える事が確認できた</li> <li>・ひきこもり状態から一歩踏み出せた</li> <li>・会話と笑顔が増えた</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続就労に向けた通所日数の増加</li> <li>・睡眠や日中の外出など、生活習慣の改善</li> <li>・体調の安定</li> </ul>

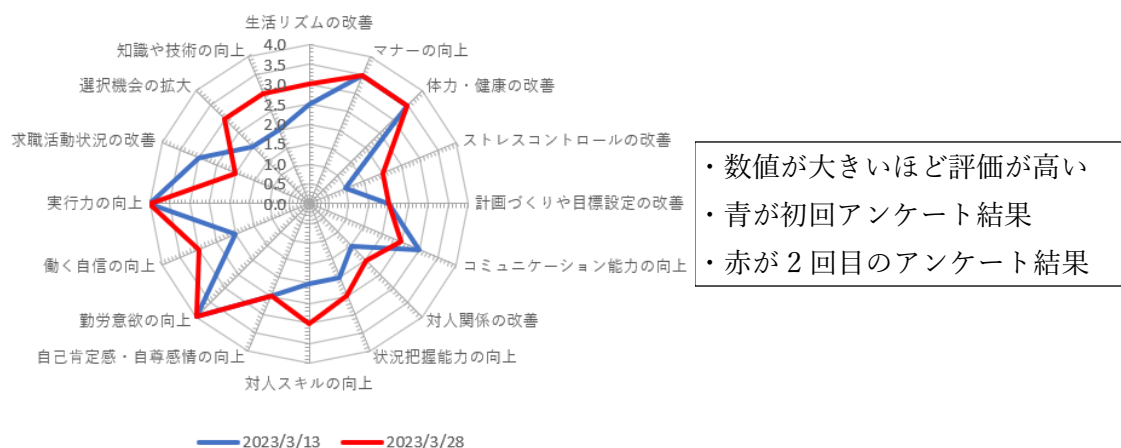
KPS ツールを活用した利用者自己評価結果



事例 8 筑豊地区 2023年3月13日より ジョブサポートみろく通所

年代・性別・区分	30代 男性 難病その他の病気、障がい者（障がい福祉サービス受給者証を持たない者）
通所日数・時間	週5日通所 9時半～15時半
困っていたこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対人関係</li> <li>・緊張</li> <li>・パニック</li> <li>・仕事を覚えるのに時間が掛かる</li> </ul>
支援内容・詳細	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に慣れるよう、適宜声掛けを行い、自身の思いを確認、整理</li> <li>・状況に応じて面談を行い、助言等を行う</li> </ul>
取組上で苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不安と緊張が強い</li> <li>・昔の嫌なことを思い出し、心身ともに不安定になる</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週5日安定して通所が出来ている</li> <li>・憂鬱な気持ちになる事が減り、心にゆとりができた</li> <li>・作業能力の高い事が確認できた</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心身のコンディション安定</li> <li>・自己理解</li> </ul>

KPS ツールを活用した利用者自己評価結果

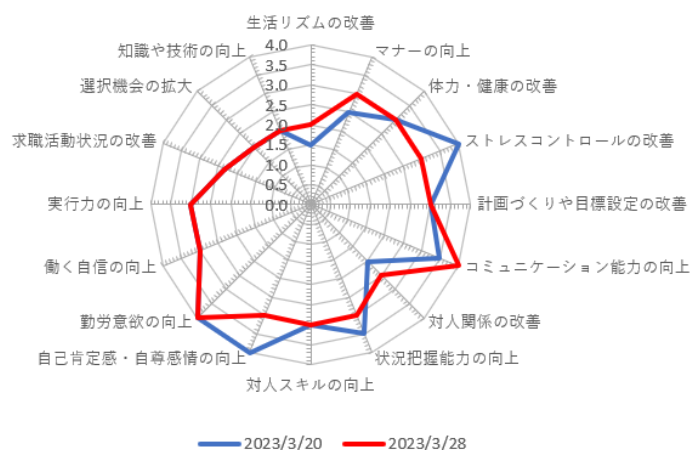


事例9 筑豊地区 2023年3月20日より ジョブサポートみろく通所

年代・性別・区分	20代 男性 難病その他の病気、障がい者（障がい福祉サービス受給者証を持たない者）
通所日数・時間	週5日通所 9時半～15時半
困っていたこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対人関係</li> <li>・仕事でミスが多い</li> <li>・自信が無い</li> </ul>
支援内容・詳細	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適宜声掛けを行い、困ったことが相談しやすい環境を作る</li> <li>・様々な作業を提供して、得意・不得意を整理</li> <li>・振返りを行い出来ることを確認</li> </ul>
取組上で苦労した点	
成果	
課題	

※空欄は支援開始から日数が立っていないため確認ができていない

KPS ツールを活用した利用者自己評価結果



- ・数値が大きいほど評価が高い
- ・青が初回アンケート結果
- ・赤が2回目のアンケート結果

## ウ 訓練等実施機関との連携に対する取組

### (ア) 協力関係構築に向けて

事業を行う上で、マネジメントセンターと訓練等実施機関との連携が重要となる為  
会議開催、訓練等実施機関訪問、情報共有ツール（Chatwork）の導入を行った

#### ・ 会議開催

情報共有や連携強化の為に月1~2回、対面やZOOMで会議を実施  
組合、福岡県、4地区訓練等実施機関が参加

#### ・ 訓練等実施機関訪問

コーディネーターの訓練等実施機関の視察・見学、利用者面談時の訪問を行い  
事業に関する説明、要望の聞き取り、支援の進捗確認等を行った

#### ・ 情報共有ツール（Chatwork）導入

事業開始当初は、電話やメールでの連絡が中心だったが、12月よりチャットを主たる連  
絡手段に切り替え、訓練等実施機関とマネジメントセンターの、情報の共有・伝達のス  
ピードアップが実現した

### 会議開催実績

2022年10月12日 開催

主な内容（事業体制の説明、KPS ビジューライズツール、委任契約書など）

2022年11月4日 開催

主な内容（委任料振り込み、訓練等実施機関受入可能人数の把握、受入後のサポートなど）

2022年12月2日 開催

主な内容（利用者受入れの流れ、提出書類・報告、面談、チャットワーク導入など）

2022年12月22日 開催

主な内容（利用者の現状報告、QOL 導入について、月末提出書類、月次報告など）

2023年1月19日 開催

主な内容（必要書類提出、KPS ビジューライズツール、利用者の現状報告など）

2023年2月8日 開催

主な内容（受入れ対象者、提出物、年度末の利用料振込、利用者の現状報告など）

2023年3月1日 開催

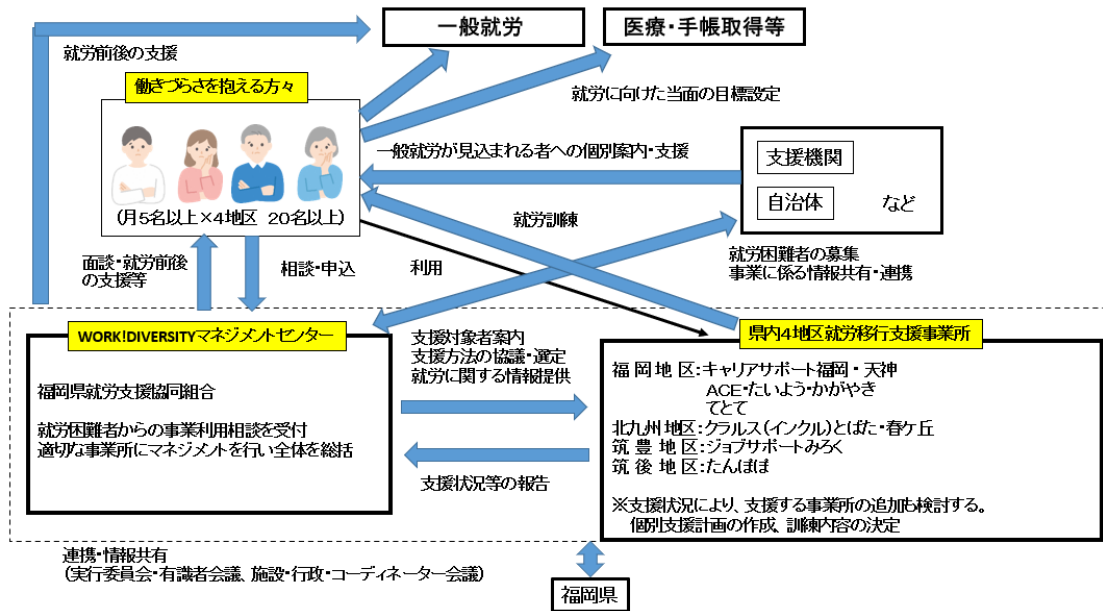
主な内容（福岡地区訓練等実施機関追加、年度末スケジュール、利用者の現状報告など）

## 訓練等実施機関訪問実績

2022年9月30日	ジョブサポートみろく	打ち合わせ
2022年10月26日	キャリアサポート福岡	見学（組合1名）
2022年11月9日	キャリアサポート福岡	見学（組合2名）
2022年11月10日	クラルス（インクル）戸畑	見学（組合2名）
2022年11月15日	ジョブサポートみろく	見学（組合2名）
2022年11月16日	たんぼぼ	見学（組合2名）
2022年12月14日	ジョブサポートみろく	利用者初回面談（組合2名）
2022年12月23日	クラルス（インクル）春ヶ丘	利用者初回面談（組合2名）
2022年12月26日	たんぼぼ	利用者契約（組合2名）
2022年12月28日	キャリアサポート福岡	利用予定者見学（組合2名）
2023年1月5日	クラルス（インクル）春ヶ丘	初回面談（組合2名）
2023年1月6日	キャリアサポート福岡	利用予定者見学・面談（組合2名）
2023年1月16日	ジョブサポートみろく	利用者初回同行（組合1名）
2023年1月20日	キャリアサポート福岡	利用予定者見学（組合2名）
2023年1月30日	キャリアサポート福岡	利用者1ヶ月面談（組合1名）
	クラルス（インクル）春ヶ丘	利用者1ヶ月面談（組合1名）
2023年1月31日	キャリアサポート福岡	利用予定者見学・1ヶ月面談（組合2名）
	ジョブサポートみろく	1ヶ月面談（組合1名）
2023年2月10日	キャリアサポート福岡	要望聞取り（組合2名）
2023年2月22日	たんぼぼ	2ヶ月面談（組合1名）
2023年2月27日	キャリアサポート福岡	利用者2ヶ月面談（組合2名）
	クラルス（インクル）春ヶ丘	利用者2ヶ月面談（組合1名）
2023年2月28日	キャリアサポート福岡	利用者2ヶ月面談（組合2名）
2023年3月6日	キャリアサポート福岡	利用者終了面談（組合2名）
2023年3月8日	ジョブサポートみろく	利用者初回面談（組合2名）
2023年3月16日	ジョブサポートみろく	利用者初回面談（組合2名）
2023年3月22日	たんぼぼ	年度末面談（組合2名）
2023年3月24日	ジョブサポートみろく	年度末面談（組合1名）
2023年3月28日	ジョブサポートみろく	年度末面談（組合1名）
2023年3月29日	キャリアサポート福岡	年度末面談（組合2名）
2023年3月31日	クラルス（インクル）春ヶ丘	年度末面談（組合1名）

## (2) 実施体制

### ア 支援体制図



### イ 支援役割分担

#### (ア) WORK!DIVERSITY マネジメントセンター（福岡県就労支援協同組合）

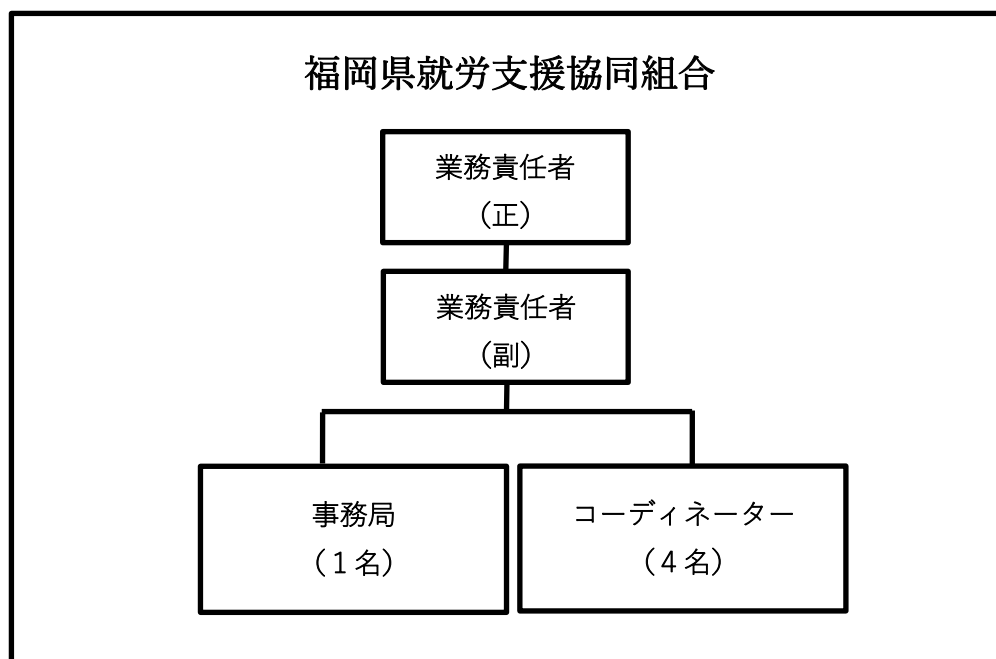
- ・ サービス利用相談の受付
- ・ 訓練等実施機関の選定
- ・ サービス開始までの調整
- ・ 支援対象者受け入れの促進に向けた取組
- ・ 定期的な支援対象者ヒアリング
- ・ 支援終了時の利用者等との支援振り返り
- ・ 就労体験終了時の就労体験先からの評価聴取
- ・ 実行委員会・有識者会議の運営支援

#### (イ) 県内4地区訓練等実施機関

- ・ 一般就労又は福祉就労実現に必要な支援提供  
(日常生活・社会生活・就労自立に関する支援他)
- ・ 支援過程での組合とのカンファレンス実施
- ・ 個別支援計画の作成と評価

- ・地域企業を活用した就労体験の実施
- ・訓練の効果の確認（アンケート実施・集計、支援記録入力）
- ・利用者の事故、怪我時の対応説明（補償内容提示）

#### ウ 組合実施体制図



#### エ 組合役割分担

##### (ア) 業務責任者

- ・事業の統括を行い、円滑な運営及び業務の質の向上に努め、効果的な事業運営を行う
- ・事業実施中、福岡県と連絡を取れる体制をとる
- ・その他、事業の実施にあたって必要な業務を行う

##### (イ) コーディネーター

###### a 会議

4 地区合同会議、事業アドバイザー会議、有識者・実行委員会、組合内会議  
会議に関するスケジュール調整、会議資料作成、会議議事録作成

###### b 報告書作成

財団への月次報告、中間報告、年度末報告  
評価ツールデータ管理

###### c 説明会

支援機関向け説明会、周知活動

説明会用資料作成

d 利用希望者対応

事業申込時の聞き取り、受入れ面談、施設見学

必要書類記入依頼（契約書・個人情報同意書・QOL）

スケジュール調整、事業所とのデータ共有、利用者・組合間資料管理

e 訓練者面談

月末面談（対面）、訓練終了時面談（対面）、就職後面談（対面・電話・Web）

利用者情報更新（利用者・事業所からの連絡・面談で情報を得た際に随時記録）

f 広報・周知活動

関連機関への広報活動（メール・電話・訪問等）、スケジュール調整

広報媒体の管理・変更（チラシ、カード、ポスター等）、広報先リスト作成

広報履歴・訪問先情報データ入力、訪問スケジュール管理、広報用資料作成・変更



## 2. 令和4年度の成果、課題、今後の対応策

---

### (1) 成果とその要因

#### ア 個別支援によるもの

##### 成果 事業利用者の自己理解が深まった

- ・病院の受診を再開（事例3）
- ・検査を受け軽度の知的障がいの診断（事例3）
- ・様々な働き方がある事を受容（事例4・6）
- ・働きづらさに対して、自身と家族の理解が深まった（事例5）
- ・手先と目を使う、細かい作業は苦手だという事が分かった（事例1）
- ・苦手だと思っていた数字を扱う作業が問題なく行える事が分かった（事例2）
- ・対人恐怖や生活習慣に対する自己認識が深まった（事例7）

##### 要因 人との関わり、作業についての振り返り

- ・利用者が事業を利用することで、様々な人との関わりが生まれて自己理解に繋がった
- ・訓練等実施機関で作業を行い、作業についての振り返りを行う事で、自分の傾向（得意・不得意、現在のコンディション、出来ること・できない事）が把握できた

##### 成果 事業利用者が今まで困難だったことが、できるようになった

- ・場面緘黙の利用者が、返事・挨拶・報告に加え自己紹介ができるようになった（事例5）
- ・ひきこもり状態から一歩踏み出せた（事例7）
- ・苦手で避けていた、数字を扱う作業ができるようになった（事例2）

##### 要因 事業利用者に対して配慮のある環境で、フォローを受けながら挑戦ができた

- ・訓練等実施機関は、体調や生活環境など、利用者の状態に配慮がなされる
- ・個別面談など、困りごと悩みごとの相談やフォローを受けられる
- ・事業利用者にあったステップを踏んで挑戦する事が出来る

##### 成果 事業利用者の立ち振る舞いに良い変化があった

- ・面談時の笑顔や会話が増えた（事例1～7）
- ・苦手なことに自分から挑戦する（事例2・3）

##### 要因 信頼関係の構築、安心して訓練が行える環境の提供

- ・マネジメントセンターのスタッフが毎月面談を実施することで、信頼関係が築けた
- ・訓練等実施機関の職員が、リラックスして過ごせるよう配慮を行った
- ・訓練等実施機関に通う、障がい福祉サービス利用者の頑張る姿が刺激になった
- ・事業利用者の自己理解が進み、不安や悩みが緩和した

成果 事業利用者に自信がつき、就職に繋がった

- ・1名が給食センターの調理補助として就職が決まる（事例4）
- ・2年間働き、調理師免許取得を目指したいと前向きな目標を持つようになった（事例4）

要因 支援が就労の準備性を高めた

- ・面接練習を受けたことで、自信を持って本番に臨めた
- ・訓練等実施機関に通う、障がい福祉サービス利用者の頑張る姿が刺激になった
- ・時間が決まったスケジュールの中で動くことが、就職の予行演習になった

## イ 体制構築によるもの

成果 事業に協力的な支援機関が把握できた

- ・WD 事業へ理解を示し、協力的な機関が把握できた  
（北九州障害者しごとサポートセンター、NPOホームレス支援団体おにぎりの会  
福岡市障がい者就労支援センター、福岡障害者職業センターなど）

要因 訪問による事業説明

- ・合計 88 件の訪問での事業説明を行い、情報収集に努めた
- ・県内の就労困難者支援環境整備の為に、協力や連携を依頼した

## (2) 課題とその要因

### 課題 利用者の受入れ体制の構築

- ・各地区 5 名、合計 20 名の受入れができない
- ・利用者の希望する訓練プログラムの提供

### 要因 受入れ枠・訓練プログラムのバリエーションが少ない

- ・訓練等実施機関の受入れ可能人数が最大で 2～3 名で、想定より少なかった
- ・作業系訓練プログラムに力を入れている訓練等実施機関が多かった  
(PC 学習を行いたい利用希望者の通所可能な訓練等実施機関が、作業プログラムに特化しており利用を見送られたケースがあった)

### 課題 事業利用者の確保

- ・事業利用希望者に関する情報収集
- ・支援機関との関係構築
- ・適切な事業内容説明

### 要因 事業対象者へのアプローチ、環境要因、事業内容の浸透

#### ○事業対象者へのアプローチ

- ・事業利用者は支援機関経由が 9 割、事業対象者の相談機関把握が重要
- ・SNS や広報誌での周知は「働きづらさを抱える方」への直接的なアプローチとなる  
(効果がある反面、利用に繋がらない希望者への対応作業が増えるデメリットあり)

#### ○環境要因

- ・支援機関が既に支援を行っている場合が多く、相談者へ本事業を紹介するまでに至らない
- ・支援機関の連携が積極的に行われていない
- ・地区によって傾向やアプローチが異なる

#### ○事業内容の浸透

- ・事業利用希望者が、障がい者との訓練に難色を示す事例あり
- ・事業利用が、障がい者として認識をされると勘違いされる事例あり
- ・関係機関へのチラシの配架だけでは周知・広報の効果が殆どなかった
- ・就労移行支援に通うメリット、事業利用事例の発信が重要

### (3) 今後の対応策

#### 課題 「利用者の受け入れ体制の構築」に対する対応策

##### ○訓練等実施機関の追加

福岡地区の訓練等受入上限数は5名だが、現在選定している2事業所に空きがなく、利用の案内ができない状態になったことから、令和4年度3月に緊急的に訓練等実施機関を確保した。筑豊地区でも年度終了間際に空きがない状態となった。同様の事例が他地区でも起きることが予想されるため、訓練等実施機関の追加を行う。

なお、追加を行う際は、現在の訓練等実施機関の支援プログラムと異なるプログラムに強みを持つ事業所を選定することで、「利用者の希望する訓練プログラムの提供」という課題の解消にも取り組む。

以上の事をふまえて、支援事業所の選定基準を下記の通りとする

- ・健全な支援、運営を行う
- ・各地区の支援プログラムのバリエーション増加に適した事業所
- ・定員数に余力があり、受入れ可能

#### 課題 「事業利用者の確保」に対する対応策

##### ○支援機関との繋がり強化

- ・令和4年度事業利用者は支援機関経由が9割である為、昨年に引き続き支援機関訪問を中心に広報を行う
- ・周知活動は、県や市の機関、民間団体など様々な機関に行う
- ・一度訪問した先にも再度訪問して、事例紹介など行い事業への理解を深める
- ・支援機関主催の会議や就労支援に関するセミナーなどに参加することで、事業と組織の認知度を上げる（例 福岡サポステ&若まど 家族セミナーなど）
- ・支援機関向け事業説明会を開催予定（興味を持った機関に後日訪問を行う）

##### ○支援機関との協力関係の構築

- ・支援機関の強みを把握して連携を行う  
例) 就職に強い支援機関と連携して、事業利用者の就職活動を行う
- ・利用者が様々な支援を自由に受けられるよう、サポートを行う  
例) 若者サポートステーションの就職セミナー受講

○区分ごとのアプローチを変えた広報

- ・心身に不調のある方と LGBT や難病患者では、訓練の魅力を伝える言葉が異なる
- ・セミナー等に参加して情報を収集して、様々な働きづらさを抱える人に関する知識や理解を深める
- ・必要な場合は、区分ごとにチラシ等を作成して広報を展開する

○地区ごとの傾向に沿った事業運営

- ・地区ごとに機関の連携、支援方法、就職先、障がい者就労移行支援に対するイメージ等が異なる
- ・地区ごとの事業利用者の確保に有効な方法を探る

## 參考資料

## (1) 実行委員会、有識者会議

### 〈実行委員会〉

#### ○ 目的

ニート、ひきこもり、難病・がん患者、生活困窮者、刑を終えて出所した人、犯罪被害者、非行少年、障がいのある人、高齢者、ひとり親等で働きづらさを抱える人の働く場を創出し、社会からの孤立や貧困等の課題解決を図る

#### ○ 所掌事項

目的を達成するため、次に掲げる事項について検討を行うものとする。

- ・働きづらさを抱える人の働く場の創出事業の推進に関すること。
- ・働きづらさを抱える人の働く場の創出事業の啓発、事業の周知及び参加促進に関すること。
- ・その他、実行委員会の目的を達成するために必要なこと。

#### ○ 構成員

区分	所属及び役職名
会長	福岡県福祉労働部労働局長
委員	福岡県就労支援協同組合理事長
	大牟田市保健福祉部福祉支援室長
	飯塚市経済部経済政策推進室雇用促進担当主幹
	福岡県人づくり・県民生活部生活安全課長
	福岡県人づくり・県民生活部私学振興・青少年育成局青少年育成課長
	福岡県保健医療介護部健康増進課こころの健康づくり推進室長
	福岡県保健医療介護部がん感染症疾病対策課長
	福岡県福祉労働部福祉総務課長
	福岡県福祉労働部児童家庭課長
	福岡県福祉労働部障がい福祉課長
	福岡県福祉労働部保護・援護課長
	福岡県福祉労働部労働局労働政策課長
	福岡県福祉労働部労働局新雇用開発課長

	福岡県商工部中小企業振興課長
	福岡県商工部新事業支援課長
オブザーバー	日本財団公益事業部国内事業開発チーム
	厚生労働省福岡労働局職業安定部
事務局	福岡県福祉労働部労働局新雇用開発課

### 〈有識者会議〉

#### ○ 目的

「多様性を認め合う雇用創出事業（働きづらさを抱える人の働く場の創出事業）」に係るモデル事業の実効性を高めるため、専門的見地から意見等を聴取する

#### ○ 構成員

特定非営利活動法人抱樸 理事長
公立大学法人福岡県立大学 名誉教授 社会福祉法人北九州市手をつなぐ育成会 理事長
国立大学法人東京大学 教授
IN THE STORY 株式会社 代表取締役
公立大学法人福岡女子大学 教授



## (2) 県内4地区訓練等実施機関支援一覧

地区	福岡
施設名	キャリアサポート福岡 キャリアサポート天神
就職訓練 プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン講座（Word基礎・エクセル基礎）</li> <li>・座学（ビジネスマナーやコミュニケーションなど）</li> <li>・SSTやロールプレイ</li> <li>・職業場면을想定した事務訓練</li> </ul>
相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回（月間モニタリング）</li> <li>・三か月に一回（個別支援計画モニタリング）</li> <li>・その他必要に応じて随時面談を実施</li> </ul>
職場実習	相談に応じて実施
就職活動 サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面接練習</li> <li>・履歴書添削</li> <li>・HW同行</li> <li>・面接同行</li> <li>・雇用前実習の実施</li> </ul>
送迎	なし
食事提供	あり 1食無料 当日キャンセル の場合は 400円～ 450円実費
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメント、活動を通じた自己理解を重要視している</li> <li>・定着支援事業、ジョブコーチを活用した定着支援を実施</li> </ul>

地区	福岡
施設名	A C E
就職訓練プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知行動療法（メンタルヘルス面談、ストレスケア）</li> <li>・座学（メンタルヘルス、ビジネスマナー、就職活動、生活訓練、PC基礎学習）</li> <li>・障がい特性を活かした書類作成のアドバイス、自己分析</li> <li>・軽作業訓練</li> <li>・データ入力</li> <li>・15日25日はお楽しみ座談会</li> </ul>
相 談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回（月間モニタリング）</li> <li>・3か月に一回（個別支援計画モニタリング）</li> <li>・その他必要に応じて随時面談を実施</li> </ul>
職場実習	相談に応じて実施
就職活動サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別性に応じた就職先の提案</li> <li>・面接練習</li> <li>・履歴書添削</li> <li>・ハローワーク同行</li> <li>・企業見学同行</li> <li>・面接同行</li> <li>・雇用前実習の実施</li> </ul>
送 迎	なし
食事提供	<p>あり</p> <p>1食無料</p> <p>※当日キャンセルの場合は400円（月末締め翌月10日払い）</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅近、3路線利用可能</li> <li>・天神駅から徒歩5分</li> <li>・医療従事者在籍</li> <li>・就職実績・定着率も100%</li> <li>・定着支援後（就労後半年）も必要時サポートあり</li> <li>・土曜も面談実施</li> </ul>

地区	福岡
施設名	たいよう
就職訓練プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得講座（MOS Word、Excel等）</li> <li>・デザイン講座（illustrator、Photoshopテキスト及び実践的な学習） ※現役グラフィックデザイナー・イラストレーターの指導員在籍</li> <li>・ビジネスマナー、コミュニケーションの指導</li> <li>・自己理解支援</li> </ul>
相 談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回（月間モニタリング）</li> <li>・三か月に一回（個別支援計画モニタリング）</li> </ul> <p>その他必要に応じて随時面談を実施</p>
職場実習	相談に応じて実施
就職活動サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面接練習</li> <li>・履歴書添削</li> <li>・HW同行</li> <li>・企業見学同行</li> <li>・面接同行</li> <li>・雇用前実習の実施</li> </ul>
送 迎	なし
食事提供	<p>あり</p> <p>1食無料</p> <p>当日キャンセルの場合は400円実費</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年単位の長期就労を大目標として、特性や適性、希望条件に合った「働きやすい職場」を一緒に探していく。</li> <li>・定期的なアセスメントとモニタリング、本人の生活リズムの改善、自己理解を深めることを重要視。</li> <li>・デザイン講座を通じて、就労あるいは趣味の多様化を目指してやりがいを見出すことにも注力。定期的にデザインコンペを開催。</li> <li>・半年間の定着支援後も相互に連絡を続けることが多く、繋がりが消えにくい。</li> </ul>

地区	福岡
施設名	かがやき
就職訓練 プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務作業訓練</li> <li>・軽作業訓練</li> <li>・自己分析、応募書類の作成</li> <li>・ビジネスマナー</li> <li>・個人学習のサポート(Excel・Word等)</li> <li>・かがやきA型での職業体験</li> </ul>
相 談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週1回（学習進捗の確認・お困りごと等のヒアリング面談）</li> <li>・毎月1回（月間モニタリング）</li> <li>・三か月に一回（個別支援計画モニタリング）</li> </ul> <p>その他必要に応じて随時面談を実施</p>
職場実習	相談に応じて実施
就職活動 サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面接練習</li> <li>・履歴書添削</li> <li>・ハローワーク同行</li> <li>・企業見学同行</li> <li>・面接同行</li> <li>・雇用前実習の実施</li> </ul>
送 迎	なし
食事提供	<p>あり</p> <p>1食無料</p> <p>当日キャンセルの場合は400円実費</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい特性や性格に応じた個別支援を行う事を大切にしている</li> <li>・就労継続支援A型と就労移行支援の多機能型の事業所である為、A型での職業体験が可能。</li> </ul>

地区	福岡
施設名	てとて
就職訓練 プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得講座 (MOS Excel、Word、日本語検定、ビジネス実務マナー検定)</li> <li>・デザイン講座 (illustrator、Photoshopなどを使ったチラシ・ポスター制作)</li> <li>・動画編集講座 (動画編集 PremierePro、AfterEffects使用、アニメーション制作)</li> <li>・コミュニケーションプログラム (座学)</li> <li>・DtoCマーケティング研修</li> <li>・職場見学 (実際に企業に赴いて、見学を実施)</li> <li>・会社見学 (テレビ番組制作会社など)</li> </ul>
相 談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回 (月間モニタリング)</li> <li>・三か月に一回 (個別支援計画モニタリング)</li> </ul> <p>その他必要に応じて随時面談を実施</p>
職場実習	相談に応じて実施
就職活動 サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面接練習</li> <li>・履歴書添削</li> <li>・HW同行</li> <li>・面接同行</li> <li>・雇用前実習の実施</li> </ul>
送 迎	なし
食事提供	<p>あり</p> <p>1食無料</p> <p>当日キャンセルの場合は400円実費</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当事者の「やりたいこと」を最大限尊重し、本当にやりたいことを仕事として実現していくことを目指している。</li> <li>・一人一人の持つ潜在能力(できること)を発見し、育むことを大切にしている。</li> <li>・社会の一員として、経済的にも精神的にも自立できるスキル獲得をサポートしていく。</li> </ul>

地区	筑後
施設名	たんぼぼ
就職訓練プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得講座 (MOS Excel、Word、日本語検定、ビジネス実務マナー検定)</li> <li>・デザイン講座 (illustrator、Photoshopなどを使ったチラシ・ポスター制作)</li> <li>・コミュニケーションプログラム (座学) Societyclub (余暇活動、ディスカッション、プレゼンテーション) 生産活動 (軽作業、DM封入作業、図書のデジタル化作業など) 外部講師による就労準備講座 (P S W、ナカボツ、HWなど)</li> </ul>
相 談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回 (月間モニタリング)</li> <li>・三か月に一回 (個別支援計画モニタリング)</li> </ul> <p>その他必要に応じて随時面談を実施</p>
職場実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域企業での職場体験実習</li> <li>・卒業生の働く職場への企業見学</li> </ul>
就職活動サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面接練習</li> <li>・履歴書添削</li> <li>・HW同行</li> <li>・面接同行</li> <li>・雇用前実習の実施</li> </ul>
送 迎	原則なし
食事提供	一食450円
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長く働き続ける事を最大の目標としている</li> <li>・施設内での取り組みは自信獲得を最大の目標とし、体験実習を重ねる事で希望職種や必要な配慮を整理する</li> <li>・定着支援事業、ジョブコーチを活用した定着支援を実施 上記支援が終了した後も、独自の定着支援 (在職者の交流会の実施 必要な場合には直接的な支援も実施する) を無期限で実施。</li> </ul>

地区	北九州
施設名	クラルス（インクル）とばた クラルス（インクル）春ヶ丘
就職訓練 プログラム	①ワークサンプル幕張版（MWS） ・作業の疑似体験（OA作業、事務作業、実務作業等） ・職業上の課題を把握する評価 ・作業上必要となるスキルや補完手段の方法などを把握 ②幕張ストレス・疲労アセスメントシート（MSFAS） ・ストレス・疲労アセスメント ③生産活動（軽作業、データ入力作業等）
相 談	・毎月1回（月間モニタリング） ・三か月に一回（個別支援計画モニタリング） その他必要に応じて随時面談を実施。
職場実習	・地域企業等への見学 ・地域企業での職場体験実習
就職活動 サポート	・面接練習 ・履歴書添削 ・HW同行 ・面接同行 ・雇用前実習の実施
送 迎	なし
食事提供	あり 1食470円
その他	・高齢・障害・求職者雇用支援機構（JEED）が開発した就労支援のツールを活用 ・アセスメント、活動を通じた自己理解を重要視している ・アセスメントを通じて、就労面のみに捉われず、その人にある生きづらさを把握、理解し就労支援外の支援も同一事業所内の他事業と連携して、課題解決に努めている。

地区	筑豊
施設名	ジョブサポートみろく
就職訓練プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座学（ビジネスマナーやコミュニケーションなど）</li> <li>・生産活動（カレー工場での食品加工、精密機器の組立や加工及び検査、シール貼りや箱折り等の軽作業、クリーニング、物流センターでの検品や搬入作業、清掃作業など）</li> </ul>
相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回（月間モニタリング）</li> <li>・三か月に一回（個別支援計画モニタリング）</li> </ul> <p>その他必要に応じて随時面談を実施</p>
職場実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域企業等への見学</li> <li>・地域企業での職場体験実習</li> </ul>
就職活動サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面接練習</li> <li>・履歴書添削</li> <li>・HW同行</li> <li>・通勤訓練</li> <li>・企業見学同行</li> <li>・面接同行</li> <li>・雇用前実習の実施</li> </ul>
送迎	あり 無料
食事提供	あり 1食500円 ※当日09：00まで注文可能
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内で食品工場から精密機器の加工等、様々な作業を提供</li> <li>・地域の協力企業先での職場実習を組み合わせ、求職活動時における職種の設定や就労時間等、整理</li> </ul>



### (3) 事業の周知広報を行った機関等

支援対象者	周知先機関
全般	ハローワーク（14か所） ●県内4地区就労移行支援事業所 ●警察署相談窓口（36か所） ●訪問看護ステーション（一部） ●大学学生課（一部） ●社会福祉協議会（一部） ●福岡県若者就職支援センター
犯罪被害者 等	福岡犯罪被害者総合サポートセンター 性暴力被害者支援センター・ふくおか 福岡県性暴力加害者相談窓口
非行少年 等	福岡県若者自立相談窓口 非行少年等に対する就労支援事業 （NPO法人福岡県就労支援事業者機構） ●NPO法人青少年の自立を支える福岡の会 ●福岡市こども総合相談センター
起訴・執行猶予者	福岡県地域生活定着支援センター
ひきこもり	福岡県ひきこもり地域支援センター ●北九州市ひきこもり地域支援センターすてっぷ ●福岡市ひきこもり成年地域支援センターよかよかルーム ●福岡県立大学不登校・ひきこもりサポートセンター
難病患者	福岡県難病相談支援センター ●北九州市難病相談支援センター ●福岡市難病相談支援センター ●就労支援ネットワークONE
ひとり親	ひとり親サポートセンター（一部） ●北九州市立母子・父子福祉センター ●福岡市立ひとり親家庭支援センター
障がいのある人	障害者就業・生活支援センター（13か所） ●福岡障害者職業センター ●障がい者基幹相談支援センター（一部）

刑余者	福岡県地域生活定着支援センター ●保護司会（一部） ●福岡県再犯防止推進会議委員
生活困窮者	県所管自立相談支援事業所（5か所） ●市町村所管自立相談支援機関相談窓口（36か所） ●福岡市福祉局保護課、各区保健福祉センター保護課 ●認定NPO法人ホームレス支援おにぎりの会 ●認定NPO法人抱樸 ホームレス自立支援センター北九州
長期無業者 （ニート等含む）	若者サポートステーション ●福岡市若者総合相談センター
高齢者	福岡県生涯現役チャレンジセンター （センター、北九州・久留米・飯塚オフィス） ●（一社）日本福祉人材育成支援機構 カイスタカイゴスクール ●福岡県中高年就職支援センター ●株式会社天使の鈴友の会
●子育て親	●子育て女性就職支援センター （北九州・福岡・筑豊・筑後エリア）
●依存症	●ジャパンマック福岡 ●福岡県精神保健福祉センター
●LGBTQ	●福岡県内団体（4団体）
●女性	●男女共同参画推進センター（福岡・北九州）
●医療関係	●福岡県精神神経科診療協会 ●心療内科、精神科クリニック（2件）
●その他	●自衛隊援護協会 福岡支部 ●大牟田文化会館

●・・・当初予定はしていなかったが、周知を行った機関